

交流のひろば

おたより コーナー

料理講座通し

家事に興味が

南町二丁目 清水 栄 65

中央公民館の「世界の料理講座」を受講したのは、昨年会社を退職したことで、妻が体調を崩したことなどで、将来の自立を考え、料理を覚えることが必須と思ったからです。

講座の始めにはその国の風土、食文化などの講義があり、国際理解の

まちのニュース NEWS

町の無病を祈る 百万遍法要

総社町高井

総社町高井自治会では七月十四日、高井公民館で百万遍法要を行いました。奈良時代、発生した疫病が、地域全体で祈ると収まったことに由来する悪病退散、無病息災、地域安全を願う行事。戦争のため中断しましたが、歴史ある行

面でも良い勉強になります。食材、香辛料なども多様で聞き慣れない物も多く、受講者は講師の説明に熱心に耳を傾けます。実習では互いにコミュニケーションと連携を図り、調理に集中。出来上がった料理は普段味わたったことのないおいしさで、毎回舌を楽しませてくれます。

わたしは最初、野菜の切り方も分からない状態でした。しかし仲間の協力のおかげで、今は料理の要領を心得ました。実習したメニューを家で復習しているうちに、段取りと手順の大切さ、味見のとき薄目の方がちょうど良い出来上がりになることなども分かってきました。

料理を家庭で作る楽しさ、語らいながら味わう楽しさはもちろん、家事の大切さも知ることができました。

事の復活を願う声が高まり、十一年前に再開しました。小学生からお年寄りまで六十人が輪になり、鐘を打つ音に合わせて、百万遍、なんまいだ」と唱えながら大きな数珠を回転させます。鐘と数珠は戦前から使用していた物で、鐘には、享保十三（一七二八）年の文字も。



まえばしの動物植物 ②

キイロスズメバチ

市自然環境保全推進委員

小池 啓一



春、冬を越した雌は、一匹で軒下などに巣作りを始め、初夏には巣からたくさん働きバチが羽化します。大きさは約二・五。夏から秋にかけて働きバチはどんどん増えて数百匹の集団になり、大きな巣ができます。秋になると、雄（写真）と雌が交尾し、雌だけ越冬して、翌年、自分の巣を作ります。

八子の仲間には、黄色と黒の横しまが多く見られます。人間社会でも、何かを警告するとき黄色と黒のしま模様をよく見かけます。これらは毒針を持ったスズメバチの色彩から取り入れられたものと思われま